



令和2年7月豪雨、台風10号により被災された皆さま方に中心よりお見舞い申し上げます。
熊本教区「令和2年7月豪雨災害見舞金」にご協力をお願いします。

インターネットで

広がるご縁

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、あらゆるイベントが中止・延期・縮小を余儀なくされています。

本山をはじめ多くの寺院でも法要の中止や延期、または縮小などの措置が取られています。一方で、新型コロナウイルスをきっかけとして、インターネットを活用した取り組みも多くみられるようになってきました。

宗派のウェブサイトや宗報においても法話動画の配信の案内等されていますが、法話の動画配信以外にも、さまざまな取り組みがされているようです。いくつかオンラインでの取り組みをご紹介しますことができます。

(各項目の最後に、各サイトのURLおよびQRコードを掲載しております。)



亡き方々の
在りし日の
面影を偲びつつ、

インターネット

盆法要

この度、鹿児島別院にて【インターネット盆法要】を勤修いたしました。新型コロナウイルス禍でふるさと鹿児島へ帰省できず、例年のように参拝出来ない方、福祉施設に入所されている方、入院されている方などに、お盆のお参りの仏縁にあってほしいとの願いのもと、心を寄せ

てお勤めさせていただきました。導師は御輪番、教区内の若手僧侶が内陣の結衆、讃嘆衆を雅友会が務め、「十二礼作法」を皆で賑々しく勤めさせていただきました。

8月9日から約一ヶ月間、YouTubeで動画配信されましたが、2,300回を超える再生回数があり(9月9日時点)、注目度が伺えます。

今後、多くの方が、これを仏縁としてつながっていくことを願っています。





◇WALK INN TV!
(ウォークインティービー)

鹿児島市中央駅近くの音楽スタジオ『WALK INN STUDIO』さん主催、『安田映像研究所』さんの撮影・編集による雅友会の演奏映像が動画配信サイト「You Tube」にアップされています。

近年、雅友会は桜島で開催される野外音楽イベント

「WALK INN FES」に出演の機会をいただいております。今年は、コロナ禍でイベントが中止となりましたが、動画配信という形で演奏の機会をいただきました。

撮影は、鹿児島別院の本堂で行われました。照明機材が数多く設置され、いつもに増して荘厳な雰囲気の中での演奏になっています。ぜひご視聴ください。
www.youtube.com/watch?v=dHABvIzh9Fw



なお、WALK INN TVは、視聴された方によるお心遣いによって運営されているそうです。よろしければ番組応援チケットのご購入についてもご協力をお願いいたします。

◎応援チケット購入URL／QRコード

<https://walkinn.buyshop.jp/3>



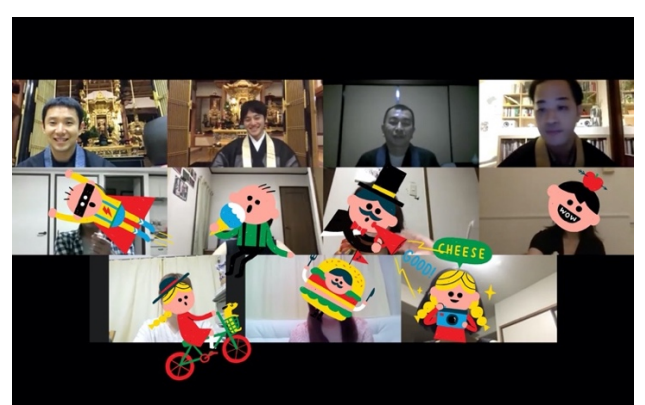
◇オンライン天文館坊主バー

天文館のバーを借りて開催していた『天文館坊主バー』がオンラインで開催されています。坊主バーのコンセプトは、

「気軽に仏教に触れていただきたい」「気軽にほとけさまの話聞いていただきたい」。

現在はコロナ禍で、ZOOM（ズーム）というウェブ会議システムを使用して開催されており、参加者がお酒を飲みながらほとけさまのお話を聞いたり、僧侶とお話をしたりしています。

開催予定は、天文館坊主バーのホームページにて案内されます。
<https://tmkbouzbar.jimdo.com/>



※一般参加者の顔は絵でかくしています

◇オンライン数珠つなぎ読経

全国各地から有志の僧侶が、宗派を超えて読経をライブ配信するプロジェクトです。インターネットがつながっていれば、だれでも自由にお参りができます。
<http://readingsutras.online/>



他にも広島青年部による法話配信や、オンラインの雅楽レッスン、写経、仏教講座などあるようです。今後ますますインターネットを活用した活動が出てくることでしょう。

お寺においても、ご法事やお葬儀の際に、スマートフォンやパソコンを使って、法事の様子を県外のご家族に配信するご門徒さんもいらっしゃるようです。物理的な距離は離れていても、仏法に遇うということ、いっしょにお参りしたいという気持ちは今後大事にしていきたいものです。

専如御門主ご親修
「本願寺鹿児島別院報恩講」
のご縁

北隅組 龍泉寺 苅屋淳慶

令和元年12月14日、専如御門主ご親修「本願寺鹿児島別院報

恩講」が鹿児島別院で勤修され、雅楽の音色が満堂の本堂に響き渡りました。

法要に先駆け、鳳笙（ほうしよう）の主管を現会長藤直亮先生より仰せつかったのですが、若輩の自分に勤まるか心配で、楽目を聞き、一人練習する日が続きました。

私が雅楽のご縁をいただいたのは、京都の勤式指導所。自坊初代が使用していたという明治時代の笙を専門の方に洗ってもらうことから始まりました。以来、鹿児島に戻ってからも雅友会に所属させていただき20年近く笙との付き合いがあります。が、忙しさにかまけ練習がおざなりになり、雅楽の腕前は現状を保つのが精一杯といったところででした。

法要が近くなり、焦りもあり、

龍笛（りゅうてき）の弟と筆策（ひちりき）の前任職に頼み込み、初めて3人そろって練習をしました。家族のよしみで、言いたいことも言え、分からないことも自然と聞くことが出来、何か3人でキャッチボールをしている少年時代のような不思議な感覚を味わいました。

大切だったのは、基本となる唱歌（拍を手でとり、旋律に沿って音名を言いながら歌うこと）でした。そこにたどり着くまでに随分遠回りしたことです。又、他の管の唱歌を歌うことで、どういう旋律をどのような拍で奏しようとしているのか、その間の取り方や息づかいなど、具体的に触れた気がしました。諸先輩方からも暖かくご指導いただき当日を迎え、張り詰めた緊張感の中、なんとか大役を果たす

ことが出来、安堵することでした。

終始、演奏することに精一杯でしたが、貴重な経験を振り返り、改めて雅楽の音色の深さ、それらに触れる喜び、又自らの未熟さや、喜びを共有する方々の存在に気づかされました。様々にお育てを頂いていたのだと、後になりしみじみと感じています。

「たとえ問題がすっかり解決しなかったとしても、じっくり考える時間をもったということは、後で思い出すたびに意味があったことがわかります」（大江健三郎）

今後も研鑽を積み、楽しみや挑戦の心を忘れず、歩ませて頂きたいと思えます。

朋友紀行

このコーナーでは、雅友会員の所属寺のご紹介いたします。第七回目は、川内組盈泉寺の佐藤一樹氏です。

「このお寺の名前は何と読むんですか？」

「“えいせんじ”です。」

1年に10回程程度ある会話のやりとりです。「盈」という字は、なかなか目にする機会がありませんので、お参りに来られた方や電話口でお寺の読み方を尋ねられることがときどきあります。



本堂全景

盈泉寺は、明治32年16坪の堂宇が建立されたところから始まります。明治34年に興正派の説教場として公称を許可され、大正11年 第一世住職となる佐藤盈雲が駐在として着任しました。昭和2年に「盈泉寺」と寺号公称が認可された後、昭和27年に興正派を脱退し、単立寺院として50年以上活動していました。



本堂落慶法要奏楽

平成15年1月に本願寺派に入派させていただき、平成27年には現在の本堂を新築いたしました。本願寺派入派記念慶讃法要、本堂落慶法要、稚児行列の折には雅友会の皆さまにご出勤いただきました。現在は、お寺での法要や法座に一人でも多くの方にお参りいただき、浄土真宗のみ教えに遇っていただけるよう取り組んでいます。また、不定期ですが、地域のイベントや芸術鑑賞会を本堂で開催するなど、地域の方に開かれた場所になるように心がけています。お近くにお越しの際は、ぜひお参りください。

余談ですが、お寺のある湯之元の地には、多くの温泉施設があります。「盈泉寺」という寺号

も、温泉が関係しています。「盈」という漢字に「満ちる」という意味があることから、「温泉が満ちている土地にあるお寺」ということで、寺号がつけられました。良質で入浴料も安い湯之元温泉にもぜひお越しください。



地元のイベント開催時の様子

◎川内組 盈泉寺

住所:白置市東市来町湯田2232
電話:099-274-2205

☆雅友会へのお問い合わせ

鹿児島教区教務所内雅友会事務局

099-222-0051

(担当 和田)

雅友会ホームページ

<http://www.hongwanji->

[kagoshima.or.jp/gayukai/](http://www.hongwanji-kagoshima.or.jp/gayukai/)